

ハタハタ資源対策協議会資料

1 秋田県のハタハタ漁獲量

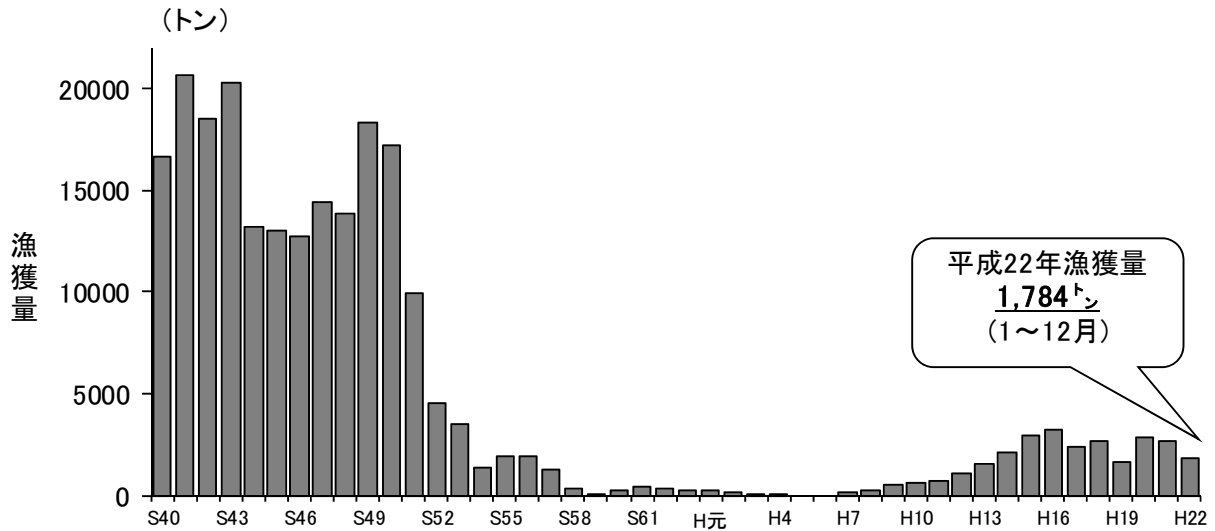


図1 秋田県のハタハタ漁獲量

(平成21年までは農林水産統計年報、H22年は水産漁港課調べ)

- H22年1～12月の漁獲量は1,784トンで、前年(2,648トン)の 67% となった。

2 日本海北部4県の漁獲量

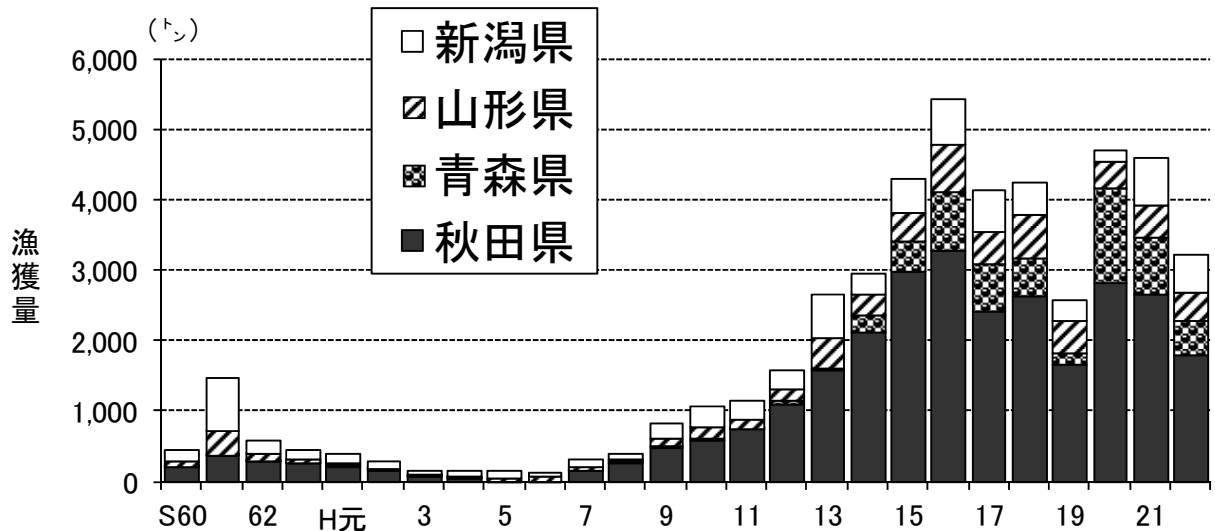


図2 日本海北部4県における漁獲量の推移

- 今漁期の4県漁獲量は 3,224トンで、前年(4,583トン)の 70% となった。
- 秋田県の割合は 55% で、前年とほぼ同じだった。
- 県別には秋田 1,784トン (前年比0.7倍)、青森 494トン (〃0.6倍)、山形 410トン (〃0.9倍)、新潟 536トン (〃0.8倍)であり、いずれの県も前年に比べ減少した。

3 漁獲枠と漁獲実績

表1 秋田県におけるハタハタ漁獲枠と漁獲実績の推移

年	沖合			沿岸			合計		
	漁獲枠	漁獲量	実績(%)	漁獲枠	漁獲量	実績(%)	漁獲枠	漁獲量	実績(%)
平成 7年	85	53	63	85	89	104	170	142	84
8年	110	81	74	110	157	143	220	238	108
9年	180	139	77	180	288	160	360	427	119
10年	300	162	54	300	436	145	600	597	100
11年	400	142	36	600	537	89	1,000	679	68
12年	400	265	66	600	886	148	1,000	1,151	115
13年	520	506	97	780	958	123	1,300	1,464	113
14年	680	384	56	1,020	1,444	142	1,700	1,828	108
15年	960	907	94	1,440	1,938	135	2,400	2,845	119
16年	1,000	707	73	1,500	2,200	157	2,500	2,906	116
17年	1,000	489	49	1,500	1,864	124	2,500	2,353	94
18年	800	944	118	1,200	1,635	136	2,000	2,579	129
19年	720	847	118	1,080	770	71	1,800	1,618	90
20年	1,200	868	72	1,800	2,019	112	3,000	2,887	96
21年	1,040	1,054	101	1,560	1,439	92	2,600	2,494	96
22年	960	442	46	1,440	1,282	89	2,400	1,724	72

※ 沖合、沿岸とも、平成9年以降は管理漁期(9月～翌6月)のデータ。今漁期は2月末までの値(水産漁港課調べ)

4 漁獲量と漁獲金額

表2 ハタハタ漁獲量と漁獲金額の推移(水産漁港課調べ)

年	漁獲量(トン)			漁獲金額(千円)			単価(円/kg)		
	沖合	沿岸	合計	沖合	沿岸	合計	沖合	沿岸	合計
平成 3年	56	17	72	109,232	53,565	162,797	1,968	3,227	2,258
4年	37	—	37	平成4年9月～7年9月(禁漁期間)					
7年	54	89	143	196,724	239,821	436,545	3,657	2,704	3,063
8年	86	157	243	224,559	280,367	504,926	2,608	1,784	2,075
9年	129	288	418	220,853	488,958	709,810	1,709	1,696	1,700
10年	142	436	578	186,852	408,545	595,397	1,312	938	1,030
11年	157	537	693	200,717	543,696	744,413	1,281	1,013	1,074
12年	155	886	1,041	153,047	528,471	681,518	986	596	654
13年	445	958	1,404	394,324	594,687	989,012	885	621	705
14年	477	1,444	1,921	308,570	496,039	804,609	647	343	419
15年	959	1,938	2,896	458,570	589,328	1,047,898	478	304	362
16年	699	2,200	2,899	274,515	584,058	858,573	392	266	296
17年	489	1,864	2,353	236,348	535,562	771,910	483	287	328
18年	959	1,635	2,595	359,720	433,257	792,978	375	265	306
19年	844	770	1,614	498,319	284,925	783,243	591	370	485
20年	786	2,019	2,805	245,147	327,379	572,526	312	162	204
21年	1,114	1,439	2,554	317,809	283,408	601,217	285	197	235
22年	507	1,282	1,789	220,885	332,768	553,653	435	260	309
H22/H3	9.1	77.2	24.8	2.0	6.2	3.4	0.2	0.1	0.1
H22/H21	0.5	0.9	0.7	0.7	1.2	0.9	1.5	1.3	1.3

※ 沖合は暦年、沿岸は管理漁期(9月～翌6月)の合計値。今漁期の沿岸は2月末までの値(水産漁港課調べ)

5 沖合・沿岸別漁獲割合

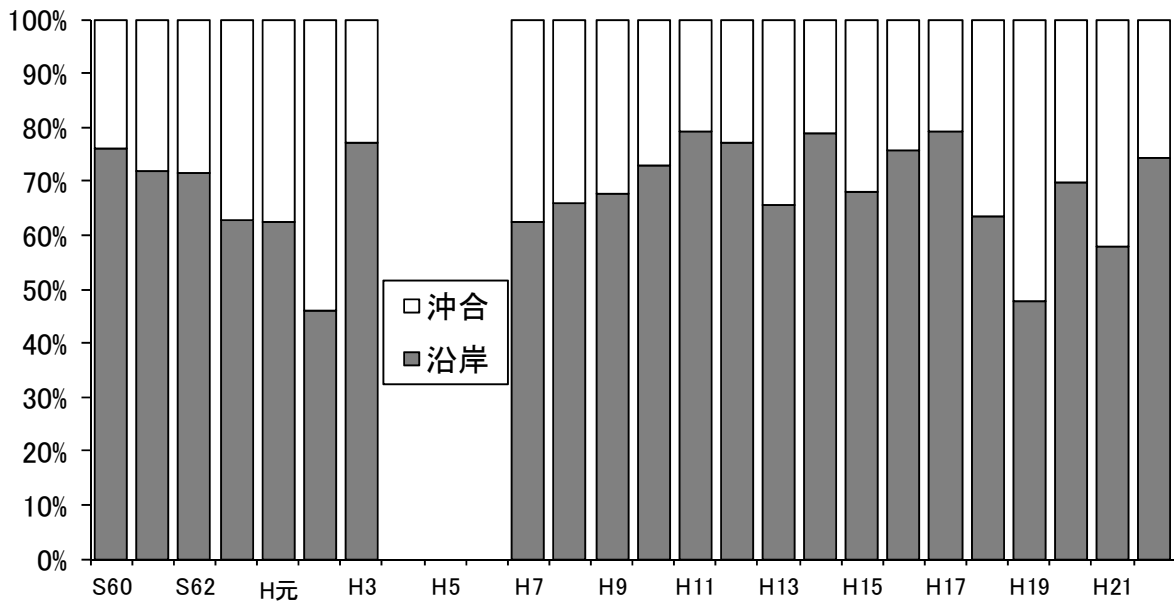


図3 秋田県における、沖合・沿岸別漁獲割合

※沖合、沿岸とも管理漁期(9月～翌6月)での漁獲量(水産漁港課調べ)

- 今漁期は沖合の比率が 26% に留まり、H17年 に次いで低い割合となった。

6 漁獲金額と単価

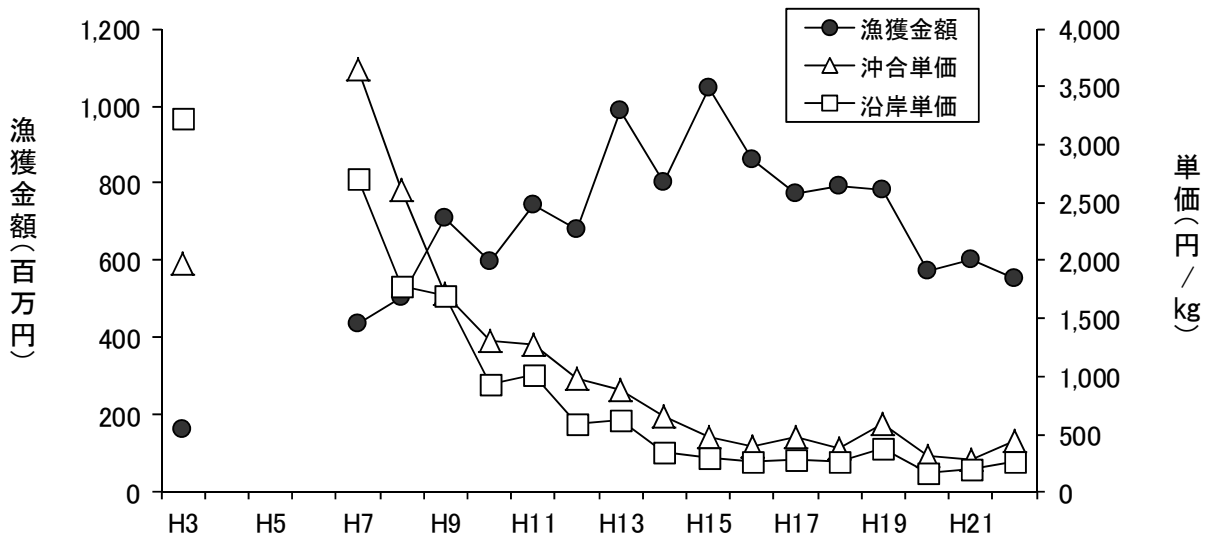


図4 ハタハタの漁獲金額と単価

※沖合は暦年、沿岸は管理漁期(9月～翌6月)の値。今漁期の沿岸は1月末までの値(水産漁港課調べ)

- 今漁期の漁獲金額は 5億5400万円 で、前年(6億100万円)に比べ 4千7百万円 減少した。
- kg単価は、沖合が 435円 (前年比+150円)、沿岸が 260円 (" +63円)であり、やや増加した。

7 H22年漁期の底びき網漁獲量

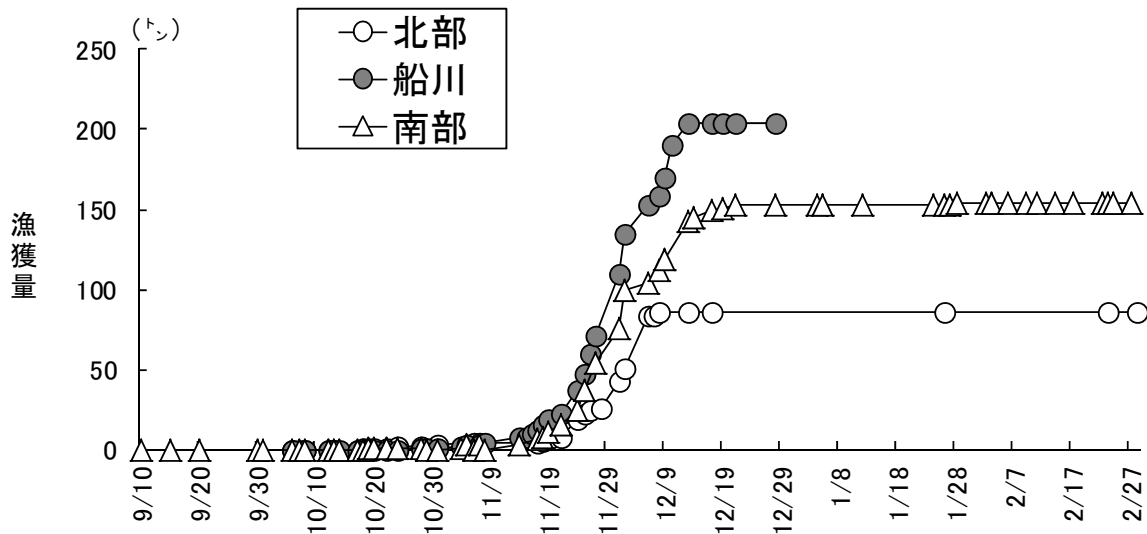


図5 底びき網での地区別・日別漁獲量

※北部(岩館・北部総括)、船川(樺・船川総括)、南部(南部総括・象潟・平沢)(水産漁港課調べ)

- 解禁日は 9月10日 で、この日に県南部において 6kg が初水揚げされた。
- 10月中の漁獲量は 約5ト と少なく、11月中旬以降にまとまって漁獲され始めた。しかし、12月上旬には全県で400トに達した後、漁を終了した。

8 過年との比較

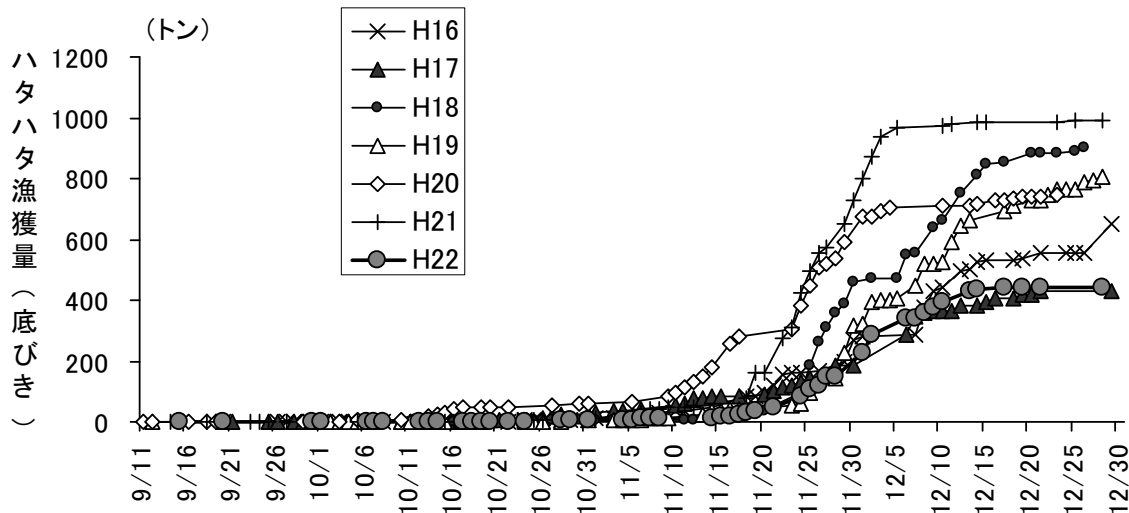


図6 H16年以降の底びき網漁による日別漁獲量の推移(全県)

- H23年2月末時点の漁獲量は 約440ト で 漁獲枠の46%であり、H17年漁期とほぼ同等の低水準で推移している。
- 漁獲状況から、今漁期の秋田沖に形成された魚群は概ね小規模で、漁場も日によって大きく変わる傾向を示した。

9 H22年漁期の沿岸漁獲量

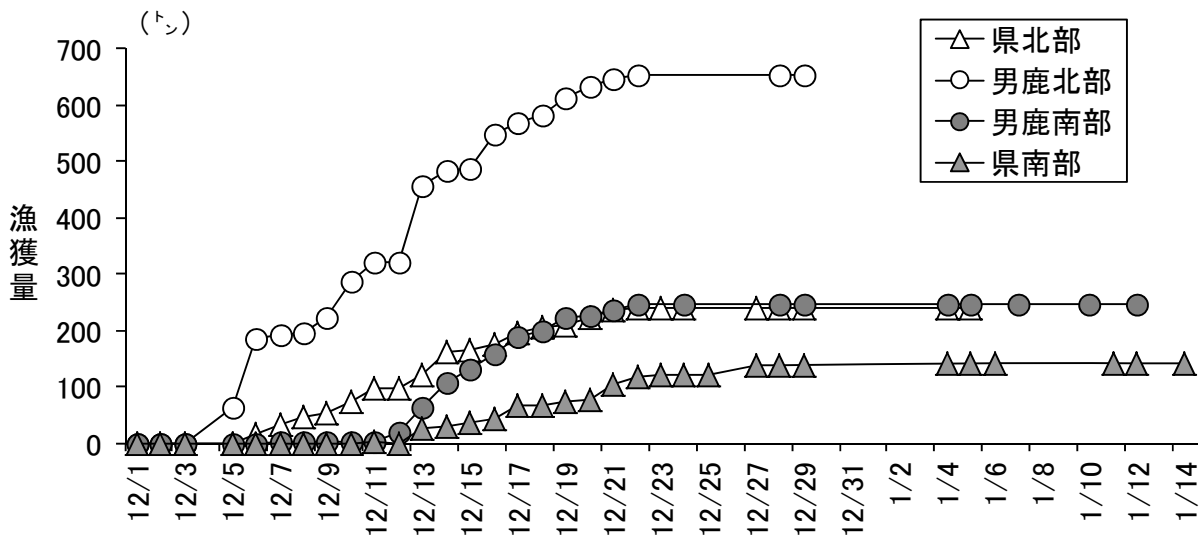


図7 沿岸での地区別・日別漁獲量

※県北部(岩館～能代)、男鹿北部(若美～戸賀)、男鹿南部(椿～天王)、県南部(秋田～平沢)
(水産漁港課調べ)

- 初漁日は 12月1日（北浦地先）
- 初漁以降は12月上旬まで北浦および県北部周辺でのみ漁獲され、12月中旬以降に船川周辺と県南部で漁獲され始めた。
- 北浦、船川および天王では12月下旬には漁獲枠に達したが、それ以外の地区では低調に推移した。

10 過年との比較

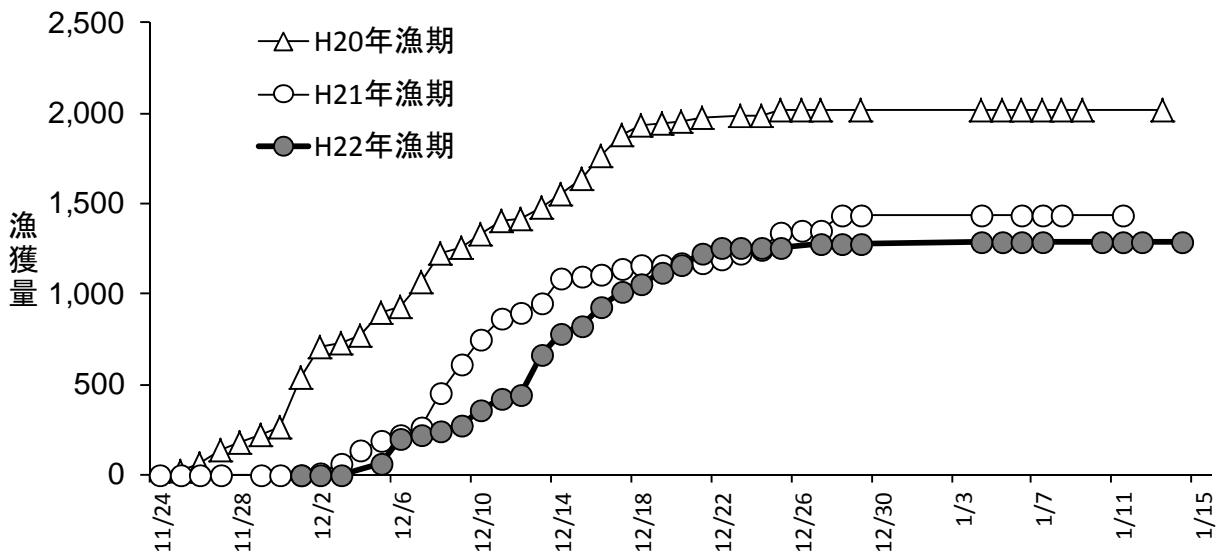


図8 H20～22年漁期の沿岸における日別漁獲量(全県)

- H22年漁期の沿岸漁獲量は 1282ト で、低調な地区が多かったものの、全県漁獲枠の 89% を達成した。

11 ハタハタの体長

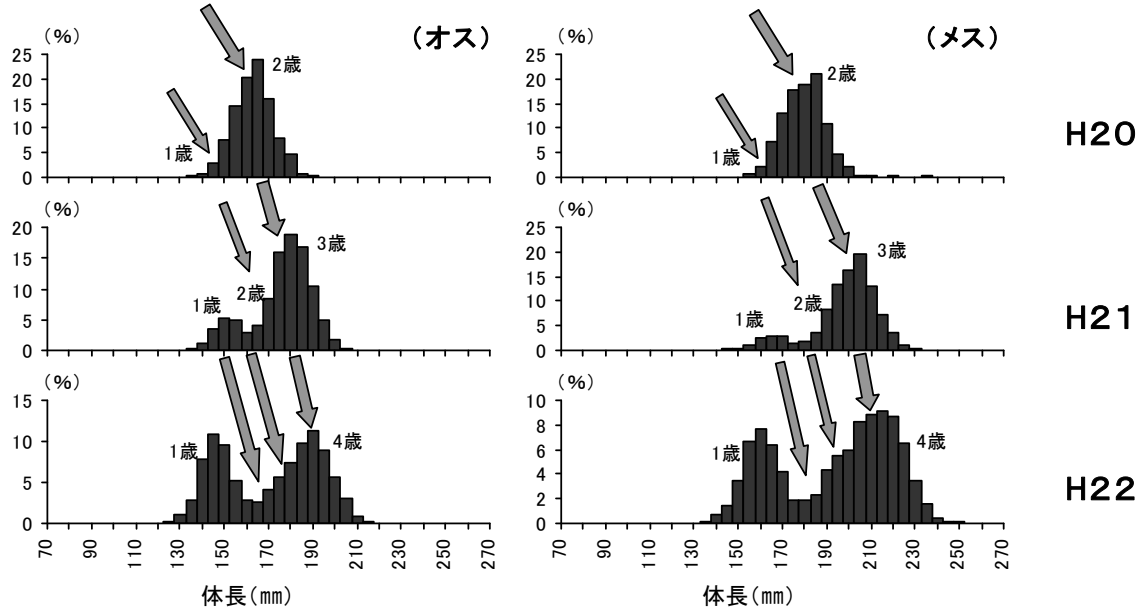


図9 11、12月のハタハタ体長組成（底びき網）
（上；H20年、中；H21年、下；H22年）

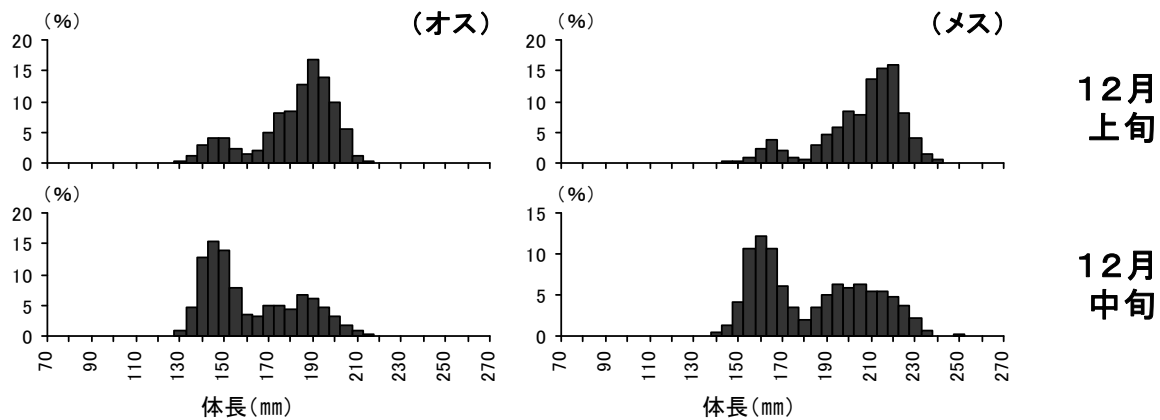


図10 12月上旬と中旬のハタハタ体長組成（定置網）

- H22年漁期に接岸したハタハタの年齢組成は、経年的な体長変化などから、1～4歳からなると考えられ、1歳と4歳の割合が高かった(図9)。
- 沿岸漁では、12月上旬は3、4歳が、中旬には1歳の割合が高い傾向を示した(図10)。
- H22年漁期の年齢別漁獲尾数は、3歳では予想より多く、4歳では推定値とほぼ一致したものの、1、2歳が予想よりもかなり少なかった。
- 沿岸漁の体長組成の変化が示すように、体サイズによって群れの行動は異なっていた。→今季の漁獲が低調に推移したのは、1、2歳の漁獲尾数が当初の予想よりも少なかったためである。

12 ハタハタ卵塊調査(卵塊密度)

地区	定点	調査年(2006年は3月に、他の年は1~2月に実施)																
		1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
岩館	St.1(小入川)						26.9	27.0	11.9	173.8	14.7	75.5	14.9	7.2	2.3	1.4	3.0	11.8
岩館	St.2(小入川)	9.7	1.2	7.6	7.6	1.5	12.6	4.1	21.1	231.8	39.4	6.4						
岩館	小入川増殖場								17.5	30.3	13.9							
八森	St.1(雄島)	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0	0.3	0.0	0.1	8.2	0.0							
八森	St.2(ニッ森)	1.7	0.2	1.3			0.1	0.1	0.8	12.9	0.5	64.6		3.7	1.0	0.4	0.4	0.6
八森	St.3(漁協脇)				27.4	39.7	15.7	3.2	25.9	116.8	25.3	23.0	59.2	67.8	57.7	7.7	85.1	53.5
八森	St.4(港ノ間)								53.2	192.8	112.8							
能代	St.1(南防波堤)		0.0	0.5		0.0	0.0											
能代	St.2(発電所取水口)		0.0	3.5	0.0	0.0	12.3	0.0										
能代	St.4(北防波堤)		0.0	0.9	6.0	0.0	6.6	0.0										
北浦	相川St.1	1.5	0.6	2.0	10.2	2.2		1.6	0.2	91.9	0.0							
北浦	相川St.2	2.1	0.6	1.7	6.6	4.4	5.5	2.4	0.1	9.7	25.4	2.8	3.3	2.8	7.6	5.5	2.6	2.3
北浦	相川St.3		1.8															
北浦	相川St.4		2.3															
北浦	八斗崎St.1(0.5m)	1.0	1.4	2.0	0.6	5.3	0.1	8.6	0.0	19.7	9.9	17.7	2.9	4.5	9.6	189.9	137.1	128.9
北浦	八斗崎St.2(1.5~2m)	0.1	0.6	3.1	6.3	3.9	1.7	1.1	0.2	12.6	70.1	13.3	0.5	0.7	0.1	1.5	1.4	1.0
北浦	八斗崎St.3(2m)								7.7									
北浦	八斗崎St.4(3m)								17.2	57.2								
北浦	八斗崎St.5(4m)								13.0		87.7	41.1	8.4	4.2	0.0			
北浦	八斗崎St.6(6.5m)									21.6								
野村		0.0	0.5	0.0	0.0	1.8	1.6	5.9	0.0	2.1	11.3	6.9	14.0	10.7	0.9	4.6	21.9	2.2
湯の尻	St.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.9	16.3	1.8	2.1	6.1	2.6	42.1	13.6	14.6
湯の尻	St.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.5	8.9	4.5	26.2	20.6	10.0	2.9	7.9	11.0	7.0	11.5
戸賀	St.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.8	6.6	0.1	26.8	17.4	0.1	9.3	18.4
戸賀	St.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	49.9	24.4	3.2	258.7	67.7	34.2	19.3	0.2
戸賀	St.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.4	5.3	1.4	7.6	3.8	32.6	6.9	29.0	1.4
台島	St.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	0.0		11.6	0.6	0.0					
台島	St.2							0.5										
女川	St.1							4.8										
女川	St.2							2.3										
船川	備蓄St.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	16.4	1.4									
船川	備蓄St.2						1.2	120.0	56.5	3.0	17.7	72.5	61.6	46.6	263.3	271.2	289.6	273.7
船川	金川St.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0		0.5	0.1	0.0	2.0	4.5	12.9	22.9	19.8
船川	金川St.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0		16.8	1.7	0.0	3.2	8.1	12.6	2.7	9.6
平沢	St.1	2.2	0.1	0.3	0.0	9.0	1.7	3.6	19.1	7.6	68.9		6.5	4.5	4.8	1.4	34.2	64.2
平沢	St.2(餘分港)	0.5	1.5	1.1	9.0	10.4	16.8	44.0	30.6	34.9	69.8	288.7	51.6	102.5	37.5	162.3	1.3	2.6
平沢									13.3									
金浦	St.1		0.8		1.1	4.3	0.0	0.0	60.0	0.6								
金浦	St.2(飛分港沖側防波堤)						8.0	57.0	1.3									
象潟	St.1(小満分港)						21.2	1.5	0.0									
象潟	St.2				27.0													

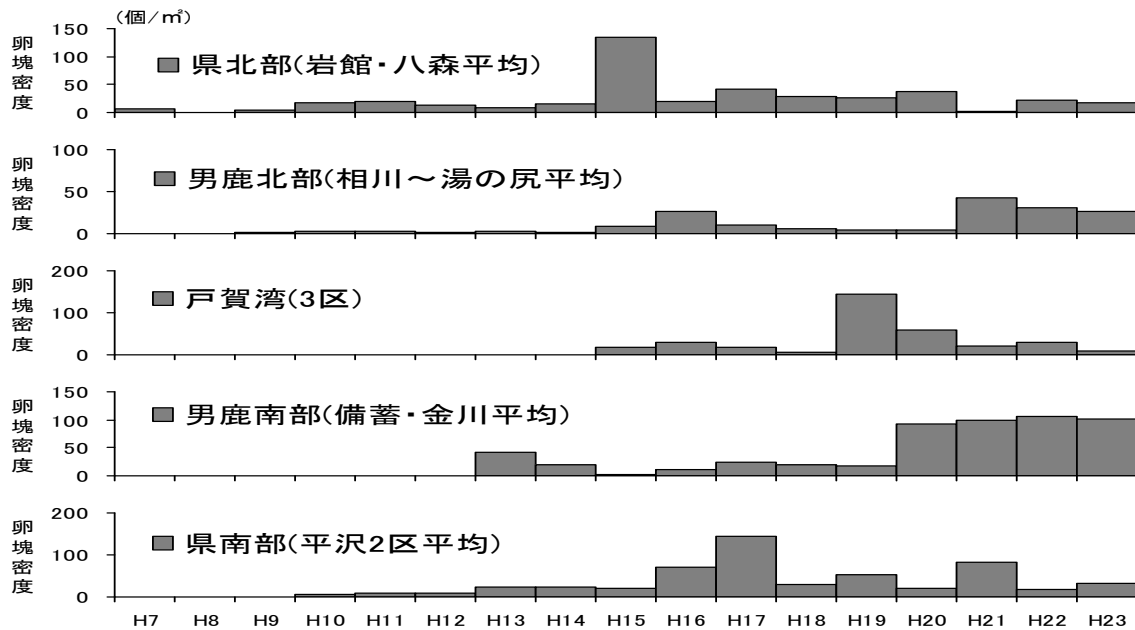


図11 地区別の平均卵塊密度

● 男鹿南部は船川石油備蓄基地の護岸で、また男鹿北部は北浦八斗崎の浅所において、ここ数年、卵塊密度が高い水準で推移している。